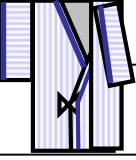
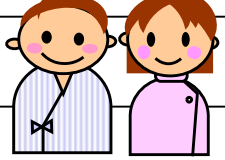
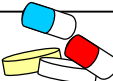


腹壁癭痕ヘルニア【脱腸】の手術（入院治療計画書）

ID: @PATIENTID 患者氏名: @PATIENTNAME 様 生年月日: @PATIENTBIRTH2(@PATIENTBIRTH) 病名(症状):
 入院科/病棟: @USERBELONGSECTION / @PATIENTWARD 主治医: @主担当医 (印) 担当医: @担当医1
 担当看護師: @担当看護師 主治医以外の担当者: 薬剤師 栄養士 2014/10/15 作成

月/日 経過(病日等)	外来	入院日～手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1～5日	手術後6日～退院日
達成目標	①手術・治療について説明をうけ、安心して準備段階をすごすことができる ②わからないことは遠慮せず、医療者に確認することができる		①術前準備について説明をうけ安心して手術室へ出棟できる	①医療者の問いかけ、指示に従うことができる(深呼吸) ②ベット上安静・絶飲食が守れる ③痛みを訴えることができる	①看護師介助のトイレ歩行ができる ②看護師指示のもと、安全に初回飲食ができる ③術後偶発症について説明を受け、予防行動がとれる	①退院後の日常生活の注意事項について説明を受け、安心して退院できる *入院の目安は約8日です。
治療・処置		○手術部位の毛を除毛します ○臍をきれいにします 	○看護師が弾性ストッキングをはくお手伝いをします ○手術着に着替えます ○朝～点滴をはじめます 	○膀胱留置カテーテルが入ります ○手術後の点滴をします ○抗生剤の点滴をします 	○傷口を確認します ○食事を半分以上摂取できれば、点滴は終了です ○1日目に膀胱留置カテーテルを抜きます。 ○1日目に酸素マスク・心電図をはずします 	○傷口を確認します ○退院後の生活についてご説明します ○次回の外来受診日について説明します 
検査	○胸部・腹部のレントゲン写真を撮ります。 ○血液検査、心電図、呼吸機能検査をします					
内服		○お薬を飲んでいる方は他院の薬を含めてすべて持参してください 				
食事		○手術前日の夕食まで食べられます ○飲水は自由です 	○午前()時まで飲水できます 	○手術後は食べたり飲んだりはできません 	○1日目の朝～ 飲水・食事ができます 	
看護		○院内は自由です ○入浴またはシャワーができます ○トイレで排泄ができます	○トイレで排泄ができます	○看護師が頻回に伺い、体温や血圧測定などを行います ○酸素マスク・心電図をします ○ベット上で安静にお過ごしください ○痛みがある時、眠れない時は看護師までお声をかけてください。	○1日目は看護師が体を拭くお手伝いをします ○2日目以降はシャワー浴ができます。 ○膀胱留置カテーテル抜去後、トイレで排泄ができます 	○トイレで排泄できます 
リハビリ					○院内は自由です(1日1回以上は歩行練習を行いましょう)	
説明・指導	○外科医師より、入院の日程、手術について説明があります ○麻酔科を受診し、麻酔医の説明を受けます	○医師より手術について説明があります ○看護師より入院生活について説明があります ○薬剤師より持参薬・服薬歴の確認を行います	○手術前にうがい、歯磨きを済ませておいてください ○ヘアピン、義歯、貴金属類をおとりください ○手術前にトイレを済ませておいてください	○担当医から、ご家族の方へ手術結果の説明があります 	○なるべく早期に歩いた方が回復が早まります。 ○手術後1か月程度、重い物を持つことは避けましょう。 	

★ 特別な栄養管理の必要性

有

無

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。
 注2 入院期間については現時点で予測されるものです。

ご不明な点は遠慮なくスタッフにお尋ねください。

高齢者総合評価の実施
総合的な機能評価

☐ 有 : ☐ 無

基本的生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
日常生活動作	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
認知機能	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察
気分・心理状態	☐ 問題なし	☐ 要精査または要経過観察

上記の説明を受け、治療内容を理解しました。

@SYSDAT2

説明者:

説明を受けた人:

続柄

(代表者)

()